

2年次で「キャリア東京校外学習(職場見学)」実施。

◆今号の記事は、2年次主任の岡野先生(社会科)が書いてくれました。

7月5日(金)、2年次の**キャリア教育の一環**として、**東京にある職場を訪問する校外学習**を実施しました。2年次の総合では、「働く」ことに対して自分なりの考えを構築できるように、様々な活動をキャリア教育と絡めて行ってきました。かえで祭の折、ロッカーに掲示した「**職業新聞**」や、お客様をもてなすアトラクション「**キッザニアかえで**」に取り組んできたのもその試みの一つです。その中で、今回の**職場体験**は、実際に働いている人や場所に直接接触することで、自分の考えをまとめていくための大きなヒントとなりました。今回訪問したしたのは、以下の**8コース、15の職場**です。

第1コース	Yahoo! Japan	→	JARTIC(日本道路交通情報センター)
第2コース	学研	→	JARTIC(日本道路交通情報センター)
第3コース	日本弁護士連合会	→	読売新聞社東京本社
第4コース	経済産業省特許庁	→	日本銀行
第5コース	キヤノン	→	警視庁
第6コース	東京地方裁判所	→	東京消防庁 本所防災館
第7コース	FCEエデュケーション	→	農林水産省
第8コース	東京税関	→	最高検察庁

官公庁では、日本の政治・経済のしくみを支える重要な役割を果たしていることを学びました。また、それぞれの職業に就くには、**専門分野の知識や技術**を身に付けながら、国民のために地道に尽力しようとする態度が必要であることに触れました。私企業は、時代の流れに大変敏感で、**高いアンテナ**を張って、常に新しいニーズに対応すべく努力していることを実感しました。特に、多くの企業で、「**SDGs**」が意識されており、国際的課題に関する解決目標に向けて動いていることを知りました。企業の社会的責任は、環境対策を経て、**よりグローバルな視点**から社会を捉えて実践されようとしており、これからの社会を形成していく生徒たちに**大きな指針**を示してくれました。

キャリア教育とは、自分が夢見る分野にのみ、脇目も振らず邁進していくものではありません。例え自分が進もうとしている道とは異なる職業でも、それを調べ、経験し、見聞することによって、**働く上で必要な態度や資質、能力を学べるもの**と考えます。たくさん学びの中から、生徒たちが「**使える知識**」と「**実行力**」を**自主的に**身に付けていけるよう、これからもキャリア教育の充実に努めていきたいと思います。

